

事務事業評価表 平成22年度

政策 政策の総合推進  
 施策 施策の総合推進その5  
 基本事業 施策の総合推進その5

事業名 **えべつ冬季イベント業務**

[6026]

部名	企画政策部	事業開始年度	昭和56年度	実施計画事業認定	非対象
課名	企画課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 市民</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) 青年会議所をはじめとする市内各種ボランティア団体・市内の各大学の学生等と実行委員会を結成し、冬季イベントを開催する。</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 子どもをはじめ市民一人ひとりが雪と触れ合いながら地域との交流をより一層深めるとともに、多くの市民が冬のえべつを楽しみ、まちの明るい明日を生み出す芽吹きとなることを目的とする。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民	人	123,537	123,054	122,568	122,568
対象指標2						
活動指標1	実行委員会への参加者数	人	260	260	300	260
活動指標2						
成果指標1	来場者数	人	21,000	25,000	25,000	21,000
成果指標2	イベント参加 協賛金協力団体数	団体	51	51	89	51
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,675	1,672	1,660	1,666
総事業費 (A) + (B)		千円	1,675	1,672	1,660	1,666

費用内訳	
21年度	

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	平成16年度 地区会場の自治会対抗方式の廃止 平成19年度 自連協の地区会場参加取りまとめ廃止 平成20年度 イベント名称から「マシュマロンピック」を外し、「イベントスノーフェスティバル」とする。
--------	--	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由・  
根拠は？

本来企業や民間ボランティア団体等の力を結集し行われるべきイベントに対し、市が実行委員会の中心（事務局）となり運営するのは市の守備範囲を逸脱しており、妥当性は低い。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

冬季間に親子等で雪に親しむという機会の提供は貴重である。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由・  
根拠は？

事業内容は例年変わらず、マンネリ化している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

広く市民、団体等が参加して開催しているが、事業内容には一定の限界がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由・  
根拠は？

市が中心となっている実行委員会形式を見直し、NPO法人等が企画・運営等を行う。